

## キャリア教育推進のお知らせ

お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。今年度の教育活動もいよいよ本格的に始まります。

年度初めにあたり、本校は今年度、下記の通り、キャリア教育についての捉え直し、見直しを行い、下記の通り推進していくこととなりましたのでお知らせします。

生徒一人一人の社会的・職業的自立や人格の完成に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育活動を、特別活動の時間を要としつつ、学校の教育活動全体を通じて展開してまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

### 記

1 本校がキャリア教育を通して育成する力 (1)関わる力 (2)見つめる力 (3)解決する力 (4)見通す力

2 指導担当教員・時間

(1)全教職員によって行います (2)特別活動の時間を要し教育活動全体を通じて行います

3 具体的な活動(主な活動)

	活動名	学 年	内 容
1	キャリア面談	全学年	学習面、生活面、進路面、健康面等について、三者面談を実施します
2	学習計画表作成	全学年	定期考査等に向け目標設定をし、自らの力を伸ばす取組を行います
3	ボランティア学習	全学年	ボランティア情報提供を行うとともに課外活動での実施を促進します
4	長期休業しおり記入	全学年	長期休業中に自分で計画を立て学習・生活する力を養います
5	キャリア・パスポート記入	全学年	自己理解を深め、次の目標設定をするなど、年に数回記入します
6	生徒会・委員会活動	全学年	行事を含め、話し合いや協力を通して社会のしくみ等を学習します
7	係活動・当番活動	全学年	自分の役割・責任を果たし、人の役に立つことについて考えを深めます
8	校外学習・宿泊学習	全学年	行動目標達成に向け、役割や責任、話し合いや協力について学びます
9	地域学習	全学年	地域や社会を考えることや、地域行事への参加を促します
10	入試面接練習	3年生	昼休み・放課後等に教員や管理職等が面接官になり模擬面接をします
11	上級学校体験・見学等	3年生	高校の先生を招くとともに、休日の見学や体験を促す取組を行います
12	職場体験学習	2年生	総合的な学習の時間を使い、体験活動を行います
13	進級・卒業に向けた面談	全学年	不登校生徒を対象に管理職が次年度や将来に向けた面談を行います

※令和8年度に「13」を追加

4 保護者の皆様へのお願い

キャリアとは、人が一生を通じて様々な役割を果たす過程で、自らの役割や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ねのことです。生徒は今後、他者や社会とのかかわりの中で、職業人、家庭人、地域社会の一員等、様々な役割を担いながら生きていきます。ぜひ、ご家庭におかれましても、中学校卒業後の進路だけでなく、将来の目標や夢、成人後の生活についてなど、お子様の生き方について、折に触れて話題にしていただけますと幸いです。

【参考資料】

中学校では、生徒が自らの生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、組織的かつ計画的な進路指導を行うことにとどまらず、生徒が、学ぶことと自己の将来のつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要として各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図るよう学習指導要領で定めています(※)。

文部科学省では、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を「基礎的・汎用的能力」と呼んでいます。そして、この能力について、各界から提示されている様々な力を参考として、「仕事に就くこと」に焦点をあて、次の4つに整理をしています。 (※)総則 第4「生徒の発達の支援」1(3)

《基礎的・汎用的能力とは》

1	人間関係形成・社会形成能力【関わる力】	多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれてる状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力
2	自己理解・自己管理能力【見つめる力】	自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力
3	課題対応能力【解決する力】	課題(仕事)をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力
4	キャリアプランニング能力【見通す力】	「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力

上記の4つの力を、本校では【関わる力】【見つめる力】【解決する力】【見通す力】と呼ぶこととし、今年度の指導の重点として取り組んでまいります。

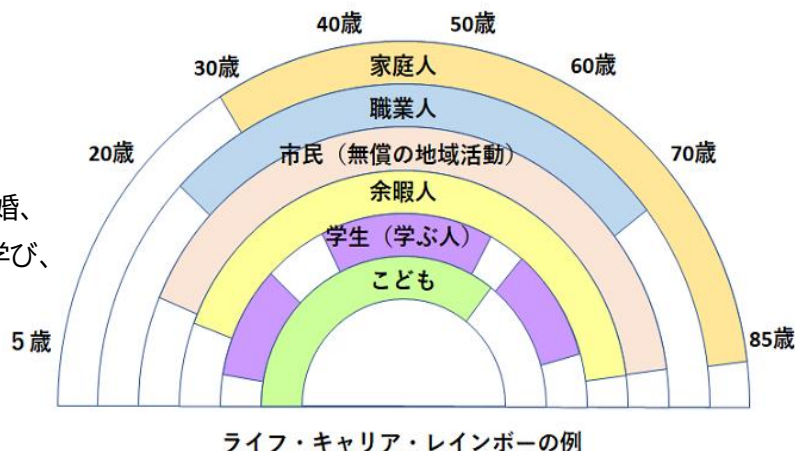
時間割に「キャリア」という科目はありませんが、各教科等の特質に応じ、学級活動や総合的な学習の時間を使って指導を行います。また、放課後の時間等を使って活動することもあります。

評価については、その時に使用したワークシートやしおり等によってその都度行いながら、キャリア面談や年度末の通知表の所見欄で総括します。

★「ライフ・キャリアの虹」・・・

(「小学校キャリア教育の手引き」参照)

これは、22歳で大学を卒業、就職。28歳で結婚、1児の親になる。その後も社外研修や習い事で学び、70歳で退職。86歳で生涯を終えた、ある人のライフ・キャリアを概念図化したものです。



★「キャリア」とは・・・

人は他者や社会との関わりの中で、職業人、家庭人、地域社会の一員等、様々な役割を担いながら生きています。これらの役割は、生涯という時間的な流れの中で変化しつつ積み重なり、つながっていくものです。人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分との役割との関係を見だしていく連なりや積み重ねが、「キャリア」の意味するところです。